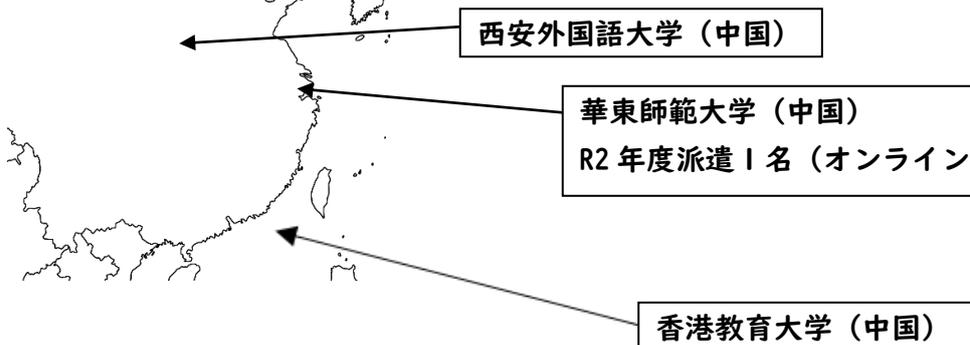
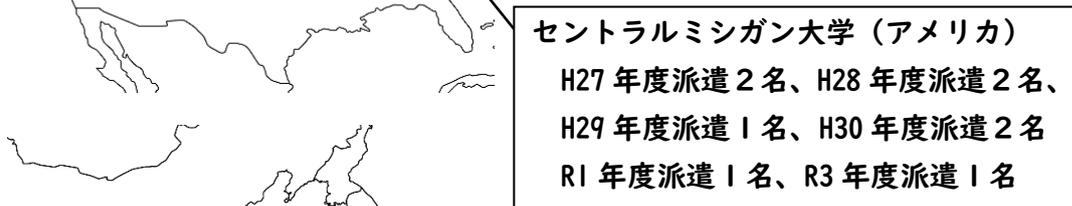
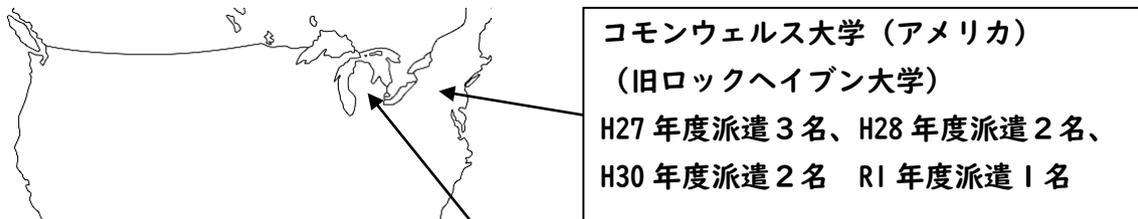
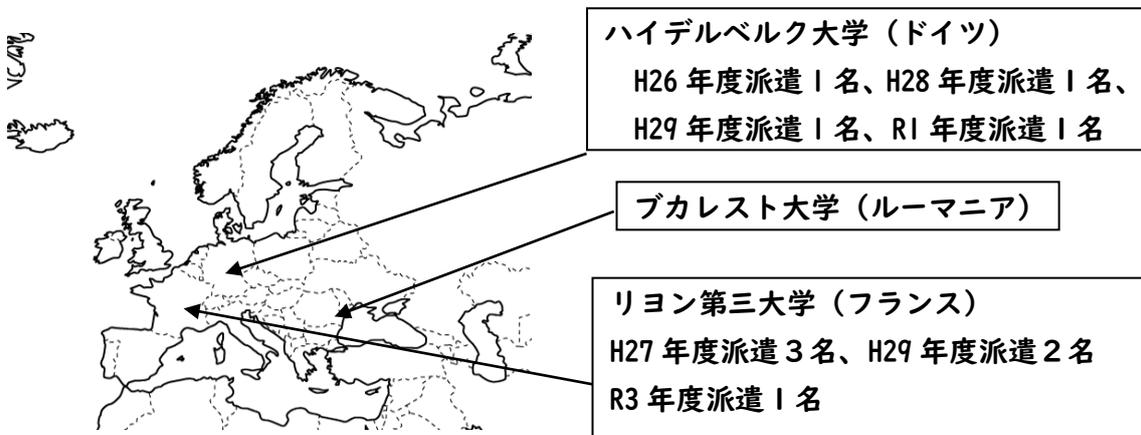
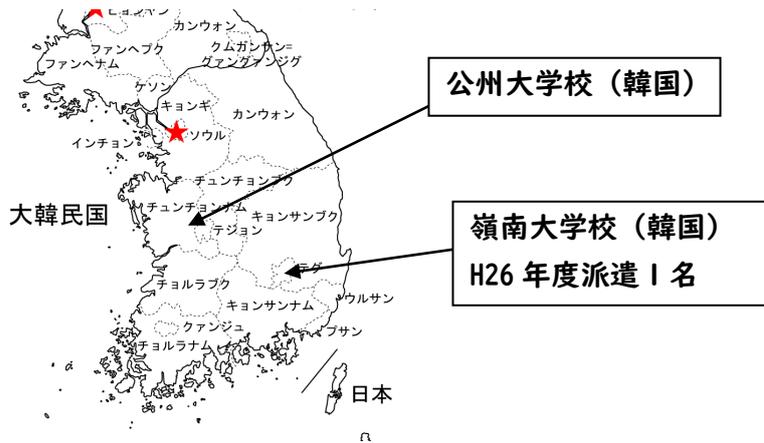


◆◇ 交換留学できる大学はココ！ ◇◆



1 ※R2 は新型コロナ禍における特例によりオンライン留学が認められた。

◆◇派遣留学生制度の特徴◇◆

2023年度協定大学の募集内容に基づいており、変更の可能性があるため注意すること。

「自立型留学」…自分で考え、行動し、解決する力をつける。目的、目標のない留学は単なる「放浪」となりかねません。

期間は？

アメリカ：8月下旬～5月上旬 ドイツ：9月～8月
ルーマニア：10月～7月 中国 9月～5or7月
フランス：8月～5月（コースによっては7月終了のものがある。）
その他、嶺南大学校で3月～派遣プログラムあり。
通常、通年（2セメ）派遣だが、半期（1セメ）で派遣可能の大学あり。

人数は？

各協定大学に2名程度。（協定校との調整で派遣人数は増減することがある。）

費用は？

奈良教育大学に授業料を納める必要があるが、協定校では授業料免除。
ただし、その他、渡航費、保険、滞在費、食費などの費用は、すべて自己負担。これまでにかけた留学費用は、おおむね80～150万円ほど。

条件は？

<学業成績>

各学年においてそれぞれ履修単位数を設けています。詳細は募集要項を十分に確認してください。なお GPA1.8以下（小数点第2位四捨五入）の者は受け付けません。

<語学力>

派遣国で生活できる最低限の語学力が必要。

<語学力要件の目安>

募集要項を十分に確認してください。

受験が必要な試験等の証明書が応募に必要なため、事前に必ず受験しておくこと。

ただし、募集期間中に試験等が実施されない等の理由により応募までに間に合わない場合は、取得計画書を提出し、取得後必ず提出すること。

過去の受検歴や教材、ノートなどの提出を求められることがある。

<その他>

派遣前の事前研修会等に参加すること。帰国後、派遣留学報告書等の提出や、帰国報告会に参加すること。令和6年度に大学が実施する説明会等に協力すること。

何が勉強できるの？

派遣先協定校により異なる。基本的には、「語学のみを一年間」、「語学学習半年、専門的学習を半年」というケースが多い。

留学での学習に決まったルールはないので、積極的に行動をすれば自分のやりたい学習や活動をすることができる可能性が大きい。

留学のメリットは？

小学校英語が令和 2 年度から導入された。また、企業でもグローバル化が一段と進んでおり、外国語能力だけでなく自身で課題を見つけ、行動し、解決する力を持った人材への社会的ニーズが高まっている。

外国での生活を通して強い精神力や判断力、洞察力を養うことができ、また自身の人生設計などを見つめなおすいい機会を得ることができる。それに加え世界規模での人脈作りが可能となる。

帰国後教員採用試験に合格し、教員として活動している先輩も多数いるので、留学に行って一年卒業が遅れることが、必ずしも教員採用に不利になることはない。

注意することは？

< 修学 >

留学した場合、教育実習やカリキュラムの関係で、ほとんどの場合 4 年で卒業できないこともある。事前に教務課修学指導係と相談し、履修スケジュールを確認しておくこと。

< 費用 >

十分な計画を立てて、早くから費用を蓄えておく必要がある。

交換留学と自費留学（休学留学）は何が違うの？

	交換留学	自費留学（休学留学）
メリット	<ul style="list-style-type: none">・ 授業料は本学のみ納付すればよい。・ 先輩学生などから事前にアドバイスを得られやすい。・ 受入れ留学生と留学前と留学後の交流が可能。・ 定期メールマガジンや随時更新される海外安全情報が得られる。・ 単位認定制度あり。	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の希望に応じて、行きたい国や学校を選べる。・ 休学中は学費納付不要。・ 独自で手続きを進めることで語学力や問題解決能力が高まる。

<p>デメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行ける国や大学が限定的。 ・卒業時期が遅れることもある ・自動車等の運転が禁止される。 ・ほとんどの協定校が寮滞在となり、ホームステイ滞在は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で授業料を支払う必要がある。 ・休学の手続きを行う必要がある。 ・留学斡旋業者などを利用すると費用が高くなることもある。 ・入学手続きやビザ申請などを独自でする必要がある。
--------------	--	--

募集はいつ？

7月頃に夏秋出発の派遣留学生を募集する。10～11月頃に面接などの選考を行い、派遣留学生を決定する。選考は、書類と面接により総合評価を行う。

募集要項はこちらから。→



大学のサポート体制は？

派遣前には、派遣留学生を集めてのスタートアップミーティングや壮行会を開催して、派遣留学がスムーズに始められるようにサポートをしている。

留学中は、留学成果を記録するポートフォリオの実施サポートや毎月メールマガジンを送り大学の情報などを提供している。また、危機管理会社から提供される海外安全情報を随時メールにて情報提供している。

本学が休業中の時間帯や期間であっても、緊急事態発生時には、大学の守衛室に架電すれば、守衛から担当者に連絡をして、事案に対応する体制を設けている。

先輩の留学体験が知りたい！

国際交流留学センターのホームページに先輩の体験報告を掲載。プロモーションウィークや帰国報告会も実施。要チェック！

<http://cies.nara-edu.ac.jp/foreign.html>

派遣留学生の募集から渡航までの流れについて（令和5年度留学生募集スケジュール）

△▼△▼△▼△▼△▼ 募集選考 △▼△▼△▼△▼△▼

令和4年

7月1日	募集要項発表、募集開始
10月14日17時	募集締切
11月2日午後	選考面接
11月上旬	国際交流推進室会議審議、選考 協定校受入内諾照会

令和5年

12月上旬	結果通知郵送
-------	--------

△▼△▼△▼△▼△▼ 事前指導 △▼△▼△▼△▼△▼

令和5年

1月～2月	スタートアップミーティング ・各協定校別手続き説明 ・派遣留学ポートフォリオ説明、指導 ・帰国学生、受入交換留学生 顔合わせ
4月～	各協定校願書手続き開始 ・協定校毎に手続き指導 ・派遣留学生自身でのビザ申請
6月～	・学生支援課指導の下、大学指定の保険（学研災付帯海外留学 保険（略称：付帯海学））へ加入
7月中旬	壮行会・危機管理セミナー ・学長激励 ・派遣留学生による抱負 ・派遣留学事前指導 ・危機管理指導（危機管理セミナーを実施）

△▼△▼△▼△▼△▼ 留学中指導 △▼△▼△▼△▼△▼

令和5年

8月～	渡航開始 派遣留学生は毎月10日までに在籍報告メールを送信 毎月末 学生支援課による大学通信発行
-----	--

△▼△▼△▼△▼△▼ 事後指導 △▼△▼△▼△▼△▼

令和6年

5月～	協定校派遣学生帰国
7月	帰国報告会（学長への報告含む） 派遣留学プロモーションウィークに協力

奈良教育大学 学生支援課国際交流・留学生係
PHONE: 0742-27-9131、FAX: 0742-27-9146
Email: ryugaku@nara-edu.ac.jp